

真砂小学校区コミ協だより

第24号

平成30年3月30日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会

編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会

平成29年10月21日(土)、22日(日)

真砂文化祭

開催場所:明倫短期大学



10月21日(土)
明倫短大文化祭・第3回真砂文化祭の初日
出展者46名による、生け花、油絵、水彩、デッサン、日本画、写真、貼り絵、パステル画、絵手紙、版画、押し花、書道、板彫刻、陶芸、竹細工、クラフト、アレンジリース、フラワーアレンジメント、手工芸、等19種類、57点の作品展示があり、午前中にボランティア応援を得て飾り付けを終了しました。
午後1時開場〜4時半終了までの間に観覧者は135名でした。
会場は次部屋の5号講堂も借用出来たため、パネルの間隔を1m広げ、ゆったりと観覧できる体制にしたこと等で観覧者の評判も良く、展示説明表も感じが良かったとの評価だった。
明倫短大の文化祭と重なったため出店もあり、食堂もチャーハンでしたが中々美味でした。
10月22日(日)
第3回真砂文化祭開催日
今回の展示場は5号講堂も借用できたためゆったりと利用でき、誘導路はS字通路となるように設定しました。
観覧者は台風前日だったため少なかったが77名ほどあったとのこと。
ステージ発表は明倫短大の民謡、自作洋舞の出演があり、洋舞では踊り子の母親に感謝花束贈呈などもありました。新潟甚句では、真砂民謡会の応援出演もありにぎやかだった。
以降は真砂民謡会の民謡、リーロアのハワイアンフラ、民謡、ハワイアンフラと色直しを兼ねて交互の舞台となりました。
午前は11時15分頃の終演となり昼食タイムに入った。
午後からは演奏関係が中心で、遠藤三男氏のエレキギター演奏、真砂ミュージッククラブ(真砂小学校児童)の演奏、シナノグリークラブの男声コーラス、中沢幸子(吹雪さくら)さんの歌謡曲、何れもアンコール要請があり盛会裏に15時頃終了しました。
観客来場者数は80数名でした。

第3回 自治会長会 & 新年懇親会

平成30年2月3日(土)

第3回自治会長会

13時30分～15時 於坂井輪コミセン
コミ協出席者は自治会長14名、役員8名でした。

今回は区役所より、区政懇談会以来懸案事項である「街づくりセンター」の建設案件」の検討経過報告の為、真田裕子副区長、永井康生地域課長、佐藤博之地域課課長代理、宮川美根子地域振興係長4名の方々の出席がありました。

街づくりセンターについて

真田副区長より①1月12日(金)8年ぶりの豪雪時の除雪対応遅滞のお詫び、②「真砂コミ協拠点整備」について本庁との打合せ経過と、真砂コミ協からの「街づくりセンター」早期建設依頼要望書「受領報告がありました。(詳細は永井地域課長から説明)

永井課長より

①真砂コミ協拠点整備のための土地確保から始まり、段取りと規模の相談をした。「設立検討委員会」の設置要請に基づきコミ協と相談しながら進めていきたい。早々に2月から開始したい。

②市の財政悪化もあり拠点整備の進展は遅々としている。平成32年度真砂小学校体育館改築に合わせて設置する予定だったが、体育館の改築が30年間延びたため拠点設置は別方式で考慮しなければならなくなった。

区での検討進捗状況として永井課長からの報告は

- 1、設置時期目標は平成34年度で計画書作成は平成32年度中としたい。
- 2、土地は真砂小学校の空き地を利用したい。学校側の了解を得ている。
- 3、建物の規模は青山コミセン、五十嵐コミハウスより若干小規模な施設なら設置可能(小学校敷地内に)と考える。
- 4、設置規模(事務所と会議の出来る場所等)に地域活動の出来る場所の必要性等を含めて、提案のあった区と地域代表で構成する「検討委員会」で相談して行きたい。

質疑応答

*「検討委員会」の設置は西区からコミ協三役会と相談して早めに合意を持ちたい。2月頃から話し合いを行いたい。

*真田副区長から真砂会館の現状について説明。真砂会館は市役所内でも特殊な施設となっている。「ひまわり」と地域自治会が共同使用している。財政的な選択、物理的な制約で出来ない案件も存在するが、両方が良い方向に行くよう話し合いたい。

自治会長会議事(区出席者の退席後)

- 1、根本部会長より「今回の豪雪についての各自自治会の対応」アンケート依頼がありました。
- 2、各部会の報告 後術参考とします。
- 3、コミ協「人材センター設置の件」アンケートを各自自治会、役員から収集しました。

4、その他

伊藤松海が丘第1自治会長より、現在西区の貸出除雪機より高性能な除雪機を、コミ協海岸側3台、山手側3台等貸し出し出来るようコミ協から働きかけをして欲しい。田浦松海が丘第3自治会長から区

の貸出機増設分を利用したが(除雪隊員20名を構成)能力が小さく結局は隊員がバテテしまった。
新年懇親会
15時30分～17時まで、自治会関係者12名、コミ役員7名、民生委員代表3名、24名の参加がありました。

生活環境部会報告

第1回 海岸協力団体意見交換会に当コミ協から参加 於 福岡市

表題の意見交換会が10月24日福岡市で開催され、当コミ協から根本環境部会長が国交省信濃川下流事務所課長と共に参加しました。

当コミ協は「夕焼け小針」界限の海岸の清掃活動や、安全点検、更に海岸線402号等の飛砂対策等に長年取り組んで来たことが評価され、昨年3月14日国交省北陸地方整備局より第1号の「海岸協力団体」に指定されました。

28年3月26日海岸線402号に造られた人工丘での「浜ニンク」植栽日に併せ「指定書」の授与式が行われました。

全国で11団体が指定となったこともあり「第1回の意見交換会」(国交省主催)となりました。

交換会には当コミ協の他、北海道 白老町環境町民会議、富山県 下

新川郡・入善町の五十里海岸の環境良くする会、静岡県 沼津市赤十字奉仕団体、兵庫 神戸市立須磨海岸水族園とNPO法人新居を元気にする会と高知市 久保建設(株)の8海岸11団体が参加しました。

交換会(各団体の活動内容は省略)は2時間で十分な交換とはなりませんでした。いくつか得るものがありました。

○自然環境を守るため自発的な活動を自己犠牲を、惜しまず努力していること。

○活動家が少なく、参加者(又は会員)が高齢化して若い方の参加が必要なこと。

○広報活動を強めて住民自らの運動とするよう広げる必要があること

○活動費が制約され苦慮していること。

尚、この日の午後から「第30回全国なぎさシンポジウム in 福岡」が開催され、この集会にも参加してきました。

第3回 新潟市コミュニティ交換会 開かれる

— 当コミ協が活動事例として

飛砂対策について発表

11月8日(水) 表題の集会在巻町で開かれました。

今回の交流会は午前10時から6つのコースを見学・視察し、午後から事例発表の交流集会でしたが、当コミ協から佐藤会長、前川・高田の両副会長、活動事例発表で根本生活環境部会長が参加しました。全体の参加者は100名ほどでした。

当コミ協の活動事例は、根本生活環境部会長が「飛砂問題」(海岸402号線)スライドを使って発表。内容は飛砂発生場所、飛砂のメカニズム、飛砂被害の実態、コミ協としての対策等について説明しました。



自然を相手に平成22年来、国・県・市等、行政との協働として根気よく継続

して活動をしてきて、平成26、27年度事業では人工丘が造られ、大きな効果を挙げたことと、この種の課題は継続してすすめることが重要であることが報告されました。秋葉区の「小須戸の町づくり」も発表がありました。

犬・猫問題懇談会 開く

11月14日(火)夜7時より 真砂会館で犬・猫問題懇談会が生活環境部会主催で開かれました。これには市の動物愛護センター職員2名も参加しました。最初にセンターの職員がスライドを使って市に於ける犬・猫の実態、捕獲や処分の暦年推移など、条例等の関係を含めて説明。

また、2つ目のスライドで災害時のペットをどのように守るか、避難所での対応の仕方などの説明を受けました。

懇談では特に、常識も通じない人、自治会活動にも参加しない人が条例に反するような飼い方をして地域全体に迷惑をかけてる問題が話題となりました。これには自治会、地域全体での対応が必要との議論でした。犬の鳴き声、糞尿(犬・猫共)等、やはり地域全体で地域問題化して対応すること等でした。

災害時避難問題では、日常の訓練の中にペットの対応も組み入れてペットを飼っている方と飼っていない方との調和がはかれるようにしておくことが強調されました。

福祉部会 報告

真砂うきうき元気塾 「うきうき元気に生きましょう」

9月16日(土) 高齢者の健康増進を目的として表記の講座を坂井輪コミュニティセンターで開催しました。今年度は前半に「特殊詐欺」について西警察、区役所坂井輪包括センターの方々からその実施や防止等についてお話をいただきました。



後半は「しなのグリークラブ」の皆さんの歌声を聞いたり、「新潟歌の旅」のお話に沿ってみんなで歌いました。

参加者74名真剣に聴いたり大きな声で歌ったり有意義な時を過ごすことができました。



世代交流の集い

「こどもたちと遊び隊」

表記の集いを8月23日(水) 真砂会館で開催しました。

高齢者44名、小学生59名計103名の参加で行われました。

前半は全員一緒にこども文化育成会の皆さんの指導で「ものづくり活動」として木っ端を使って並べたり重ねたり作品作りをしました。こども達の真剣な取り組みで、それぞれ個性あるすばらしい作品が出来ました。

後半はお手玉、あやとり等の、昔のあそびを七つの種目に分かれて高齢者から小学生が教えてもらいながら楽しみました。

高齢者・小学生がお互いから元氣や知識を得て有意義な時間を過ごしました。



青少年健全育成部会 報告

真砂小学校文化祭「プレイゾーン」

日時 平成29年10月21日(土)

11時~14時30分

場所 真砂小学校 体育館

内容 紙ヒコキ大会、工作コー

ナー(ビーズアクセサリー、アートバルーン、クリスマスオーナメント、新聞紙でスリッパを作ろう)、カプラ、ヘルスパレーボール、長縄跳び、昔遊び(各種コマ、お手玉、おはじき等)

参加人数 約350人(児童、教

職員、保護者、地域の方々)

プレイゾーンの開始時間については、ふれあい音楽会が終わってすぐ開始した事もあってか、昨年以上に児童達に楽しんでもらえたと思います。

工作コーナーは、特にアートバルーンや、クリスマスオーナメントが人気で、すぐに無くなってしまいう程でした。

紙ヒコキ大会は、終了時間まで列が途絶える事が無く大盛況でした。

「新聞紙でスリッパを作ろう」コーナーでは、地味な新聞紙にペンや折り紙等でデコレーションを施している子もいて、子供の感性には驚かされました。

今回初めて用意したアートバルーンや、クリスマスオーナメントは非常に人気があり、すぐに無くなってしまったので、来年は数量等を検討して、より楽しめる内容にしたいと考えています。



まさご体験教室 「スポーツ鬼ごっこ」

日時 平成29年11月11日(土)

9時30分~11時30分

場所 真砂小学校 体育館

(まさごわくわくスクール)

内容 スポーツ鬼ごっこ・昔々今玉、おはじき等)

参加人数

未就学児	4人	小学生内訳
小学生	47人	1年生
大人	9人	2年生
合計	60人	3年生
		4年生
		5年生
		6年生
		小学生内訳
		12人
		6人
		4人
		4人
		4人

同じ学年でチームがバラバラ4チームに分かれてリーグ戦を行い、前半2分、ハーフタイム2分、後半2分で行いました。

最初は、皆、ルールを確かめながらでしたが徐々に慣れてきて、白熱した試合になりました。

スポーツ鬼ごっこには参加しなかった未就学児や、試合と試合の間には、昔々今の各種遊び道具で遊んでもらったので、途中で帰る子もほとんどおらず、退屈せずに楽しく過ごせたと思います。

コミ協部会員も2名ライセンスを取得して

おり、また、3年連続3

回目の開催という事で

ルールも周知されてきて

っており、全体にスキルアップを図る事ができた

様に思います。真砂小学校区の活動として定着することを目指したいと考えています。



文化部会 報告

文化講演会 「中・高年の山歩き」

12月17日(日) 10時~於コミセン

講師・新潟登山会、端保幸雄氏

参加者20名程度、

新潟登山会には90歳代でもまだ会員となっている方もおられる。80歳代は50人程度70歳代が一番多い(40歳以上が会員資格)会員は総数480名いる。

山登りのコツは30分位はゆっくりと歩き体を慣らしながら登ること。体調不良はこの30分間で出るのが多い。

両ステッキで両足を平行にして歩くように足の裏全体で踏みしめて登ること。

山花などを愛で乍ら写真を撮って、決して採らぬ事。

事故は下山が90%となっている。下山を慎重に! 道を間違えたら登りながら探すこと。決して下つてはいけない。

携帯電話の完全充電を忘れぬこと。山の上では携帯電波は下からくるので下向きにして話すように。等々約1時間40分の講演だった。

初心者パソコン教室

日時 2月14日(水)

2月21日(水)

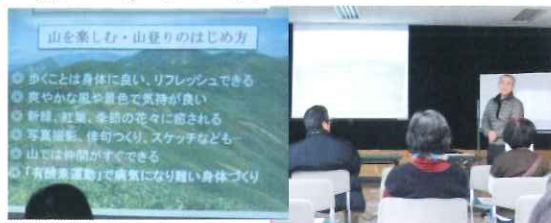
2月28日(水)

17時30分~18時30分

場所 真砂小学校 パソコンルーム

講師 真砂小学校 長井教頭先生

内容 初めてのの方が一から始める楽しいパソコン教室でした。



スポーツ部会 報告

真砂・松海が丘連合野球大会

A 総当たりリーグ戦

6チーム参加

開催期間 5月初旬～7月末

日曜日 6時30分～8時、

8時～9時30分

優勝

真砂1丁目自治会

2位

松海が丘第3自治会

B 日報・信金杯トーナメント

6チーム参加

開催日 8月6日(日)

8月20日(日)

優勝

真砂1丁目自治会

2位

真砂マリンストロング

第5回グランドゴルフ大会

開催日 9月17日(日)

9時30分～11時

会場 真砂小学校グラウンド

参加者 6チーム24名

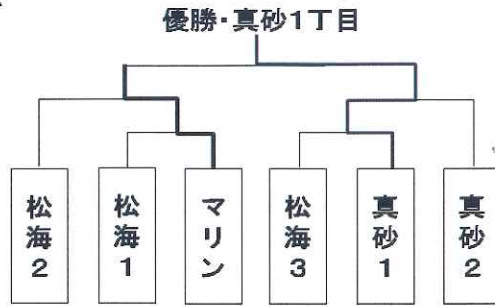
優勝 真砂ロイヤルズ

(真砂1丁目)

2位 真砂オールドパーズ

(真砂2丁目)

好天に恵まれファミリーチーム2チームを交え楽しくプレーをした。



日報・信金杯

第4回コミ協ゴルフ大会

開催日 9月29日(金)

会場 フォレストカントリークラブ

参加者 7組26名

優勝 西小針台

(富岡・今泉・松原・磯西)

2位 松海が丘1

(大谷・森下・本多・竹内)

個人優勝 磯西雅夫

ベスグロ 今泉誠衛

前日の大雨強風の

悪天候が嘘のように

好天に恵まれ好プレー

続出。

表彰式は和やかに

親睦を深めた。



ピンポンで二汗かいて健康づくり

開催日 2月～3月

計6回開催

会場 西総合スポーツセンター

大雪にめげず30名も参加し、大いに汗を流した。

防災部会 報告

防災研修会実施

11月25・26日(土・日)於真砂会館

当コミ協において昨年度避難所運営について研究しました。

今年度は避難方法、初期の避難所生活について実践的に体験研修を企画実施しました。

交通安全・防犯部会 報告

青色パトロールカー巡回

毎週月曜日、水曜日、金曜日

パトロール実施

左記の通り各地域にパトロールを実施した。

7月29日(土) 18時 小針浜 5人

8月11日(金) 18時 夕焼け小針 5人

9月3日(日) 9時 寺尾中央公園 7人

10月28日(土) 16時 土砂災害危険箇所 7人

交通安全餅つき大会参加

12月3日(日)五十嵐中学校区青少年育成協

議会主催の餅つき大会に参加した。



自治会の活動紹介

松海が丘第1自治会

秋祭り

松海が丘第1自治会では第5回目となるミニミニ秋祭りを平成29年10月8日(日)に開催しました。

当自治会では、第1回目、2回目のお祭りから自治会のコミュニケーションと過疎化対策の一つとして、離れているお孫さんなどと会う機会を増やし誰もが参加でき自治会の垣根を越えた楽しい地域づくりを目指してきました。

第3回目からは防災について取り込んだものにし、第4回目ではフリーマーケットなど簡単なテーマを設け新たな取り組みを行ってきました。

そして今年度は大吉松海が丘店に出店して頂きました。

毎年120人以上の方に来ていただき周辺自治会の小さいお子様からお年寄りの方まで来場して頂いたことに感謝しております。

この活動はまだ始まったばかりですが、続けて行く事により地域活性化や防災力を含め自治会の活動力につながると信じております。

これからは、当自治会の単体のお祭りだけでなく諸事情でお祭りが出来ない自治会もあるかと思えます。真砂コミュニティ全体で各自治会が参加できるように発信していきたい誰もが参加できる地域のお祭りになることが願いでもあります。

会長 伊藤健一



真砂4丁目自治会

第7回 世代間交流懇談懇親会

この会は町内の若い方或いは世代をまたがった方々に顔見知りになつてもらい、また自治会活動について理解を深めて、参加していただくことを目的として行っております。

今回は15名の参加(初参加4名)。

この7回で1回でも参加した方は59名にもなります。

今回も自己紹介において趣味や生い立ちを各々の方が個性豊かに披露してくださいました。

また当自治会については、活発な活動をしている大変良い自治会で、自分でも可能な限り参加・協力するという意見や、これから積極的に参画し自治会運営について踏襲するところは踏襲しながら、変えていきたいという発言が若い世代からありました。

副会長 荒川恭延



松海が丘第三自治会

一夜で一メートルの降雪

海のそばで、松の砂防林に囲まれた窪地にある我が自治会は他地区よりも雪が多めです。

平成23年度に除雪隊を結成してから7年目で、今年も西区より除雪機を借り、降雪に備えておりました。

1月11日(木)から12日(金)の雪はなんと1メートルに達しました。

万全の備えにもかかわらず、私たちの手にはとても負えない雪でした。

1月17日(水)深夜零時ごろ南区の除雪車がダンプと組で、各3台連ねての除雪に来て下さいました。

感激でした。思わず「ありがとうございます！」と叫び声を何度もあげました。それは、3日間も続きました。

会長 田浦智子



編集後記

今年の冬は数年ぶりに大寒波が押し寄せ市内は大雪となり、各地域の除雪も大変なことだったと思えます。

コミ協だより24号も文化祭・自治会会長会・各部会の活動・各自治会の活動等、多くの記事を載せる事が出来ました。

関係各位に御礼申し上げます。